

市民と市長の意見交換会<真野地区> 質疑要旨

日時：令和3年12月4日（土）18：30~20:00 会場：真野ふるさと会館

参加人数：22名

○質疑要旨

質問者 （居住地区）	意見の要旨	市長の回答	関係部署
真野新町	人口減少をあきらめないでほしい。中学生も佐渡には仕事がないと言っている。 高齢者が亡くなってから発見されることがあったが、数字で捉えてほしい。市は支援が必要な人を把握して対処すべき。	人口減少をあきらめるとは言っていない。人口減少は日本全体の問題である。佐渡で働く場所があるので、高校生に佐渡で必要な人材（介護、ＩＴ、建設技術者等）をもっと真剣に訴えるべきである。家庭教育で促すことも必要。ここ２年佐渡に島外から500人ずつ移住してきている。魅力ある職場づくりをしたい。 福祉に力を入れ、子育て、医療、福祉の気軽に相談できる仕組みを作りたい。中にはかまわないでほしいという人もいるがいろんな形で関わるのが大切である。会話は当然大切だが、デジタル化の推進により安否確認の仕組みも模索していきたい。	企画課 移住交流推進課 地域振興課 子ども若者課 社会福祉課 高齢福祉課
倉谷	佐渡が世界遺産に推薦漏れになるのは保存状態が悪いからという声があるが、なぜ過去は選定されなかったのか。今回はどのように取り組んできたのか。今回は自信があるか。	世界遺産は１つの国に1つのテーマしか認められない。すでに銀山では石見銀山が登録されており、これまでは佐渡は石見とどう違うのかを説明してきた。 今回は、明治以降の遺産を除き、江戸時代の手工業に絞って提案した。文化審議会からは高い評価を得ている。先日文部科学大臣、文化庁長官に要望した際には、応援すると言っていたいたので大丈夫だと思っている。	世界遺産推進課
真野	佐渡市のテーマを「心身ともに長生きできる島」にしてはどうか。「心」は芸術・民謡会館をつくること、「身」は薬草・漢方の知識をつけ、島民が一体となった取組を進言する。	新しい施設は建てず、既にある能楽堂を活用できないかと考える。既存の施設をしっかりと活用して芸術・民謡の拠点にして、民謡団体が随時上演したりするなど、文化財団と共にオンリーワンを作っていきたい。 地元の食材を見直しながら、自然のものをうまく使う地産地消も考えていくべきだと思う。	社会教育課 農業政策課
真野新町	トキエアの首都圏直行便は羽田空港乗り入れをぜひお願いする。市民はこれを希望している。今年度県予算に佐渡空港調査設計費8,329万円あるが、来年度どういう工事が始まるのか。	羽田空港乗り入れは難しいかもしれない。成田空港にはＬＣＣが運航しているので、安価に日本全国に行けるし、世界にも行ける。どちらかに佐渡発着実現を国土交通省にお願いしている。地元の国会議員とも話をしながら取り組んでいる。 来年度の工事については聞いていないので、来年度予算が見えてきたらお伝えしたい。	交通政策課
倉谷	平成27年に新潟県環境衛生研究所が調査した「佐渡の湧き水」というが本があるが知られていない。これをホームページか市報に載せて周知し、観光客にもおいしい水を飲んでもらいたい。 また、地震等断水時には湧き水が有効利用できる。継続して水質検査をしているのか。これからも使えるよう整備してほしい。大立漁港付近にも湧き水があり、水質検査と簡易な給水場設置を前向きに検討してほしい。	本の活用を考えていきたい。一度作った本を活用していないのは行政の大きな課題である。湧き水を正式に飲み水として許可できるものがどれだけあるのか。恐らくその後の水質検査はしていないと思う。全ては無理でも情報発信を検討していきたい。	環境対策課 上下水道課
真野新町	民生委員には避難行動要支援者名簿は配られているが持っているだけである。防災に関係する組織があるがまともらない。なんとかならないか。	希望する集落を重点集落として災害時の避難の仕組みづくりに取り組んでいる。集落内をまとめるのが難しく一斉には無理だが、集落内で議論できる環境が大切である。行政サービスセンター長が集落に入って働きかけていく必要がある。両津地区では先行して取り組んでいる。	防災管財課

市民と市長の意見交換会<真野地区> 質疑要旨

高崎	インフルエンザ予防接種がワクチン不足でなかなかできないが、その後の情勢はどうか。	全国的にもインフルエンザワクチンが不足している状況。病院ではワクチン確保に努めている。	市民生活課
高崎	佐和田病院がなくなったら、その後どうなるのか。	佐和田病院は歯科のみになるので、入院患者の受け入れ先を話し合っている。土日診療の代替えは難しい状況。特にリウマチの患者さんの受入先が課題。新潟県が佐渡医療圏として病院の役割分担を検討中で、どのように受け入れるのか検討している。また、佐渡総合病院で研修医を確保する仕組みを作って医師を増やしていきたい。	医療対策課
倉谷	二宮神社の火災については初期対応、危機管理対応が悪かったのではないか。前日の不審火があった時点で、近隣に警察が事情聴取をしたり、防災ラジオ、メール配信等を活用して防犯啓発をすべきだった。関係者で検証していただきたい。	不審火が放火とは断定できない判断だった。放火は犯罪なので早めに対応しなければならないと思うので、警察と協議していく。	防災管財課 消防本部
真野新町	新町の街が暗いのももう少し夜明るくしてほしい。歩くのに非常に不便である。	このような要望は遠慮せずに行政サービスセンター長に言ってほしい。真野行政サービスセンターで受け付け、対応する。	建設課
真野新町	真野体育館がもう少しでだめになるので、ふるさと会館の耐用年数を考慮し、兼用の施設に建て替えてほしい。	以前は体育館を廃止して、ふるさと会館に公民館機能を増設する計画だった。体育館は修理不可能で、真野行政サービスセンター庁舎と合わせて考えなければならないので、今後議論していく。体育館は可能な限り使いたい。	企画課 社会教育課
真野新町	両津病院建設経費約50億円のうち5億は補助で残りは借金になるが、佐渡に県立病院がないので県補助を要望してほしい。	県立病院がないので県に財政支援をお願いしているが、県の補助金獲得は難しい。他の方法での財政支援を検討している。佐渡医療圏の医療体制整備は県が行うものだが、申請により佐渡が国の重点支援区域にも選定され、何らかの支援が今後は受けられると思う。	医療対策課 両津病院
倉谷	椿尾から素浜までの海岸道路改良は問題があって進まないのか。	工事が進まないのは地権者の同意か、費用対効果の課題なのか明確に把握していないので、確認する。 ⇒（確認結果）これまで整備してきた橋やトンネルなどの構造物の老朽化に伴い維持・修繕にも多くの費用が必要となってきています。 また、島内の県管理道路において、狭小箇所や近年においても通行止めとなる箇所などがあるため、限りある予算の中で路線の緊急度や重要度等を確認しながら整備を進めているところです。	建設課